

## 1 指定管理施設の概要

施設名	東舞鶴公園、泉源寺公園、前島みなと公園、舞鶴文化公園、東体育館		
指定管理者	舞鶴スポーツネットワーク		
設置目的	市民が、生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、様々なスポーツ・レクリエーション活動を行える施設として、また、市民ニーズに対応した各種スポーツ事業等の実施を通じて市民のスポーツ活動の振興を図り、健康の維持増進に資する施設として、さらには、大会誘致、合宿誘致などスポーツの観光交流を積極的に推進し、スポーツを通じた地域づくりに資する施設として、施設を拠点とした戦略的なスポーツ事業の展開を行うため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
所管課	市民文化環境部地域づくり・文化スポーツ室スポーツ振興課、建設部土木課		

## 2 利用状況等の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数(人)	282,280	361,015	335,275	327,375	300,212
利用料金(円)	36,999,704	44,624,972	44,351,275	42,872,110	38,808,330
指定管理料(円)	77,211,000	79,222,000	78,705,000	78,705,000	78,705,000

## 3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
利用人数	310,000人	350,000人	300,212人	86%
自主事業の実施回数	100回	500回	1,181回	236%

## 4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	38,808,330	人件費	59,665,496
指定管理料	78,705,000	維持管理費	27,689,754
事業収入	10,542,530	事業費	9,744,546
その他	7,398,928	その他	44,498,370
合計	135,454,788	合計	141,598,166
差額			△6,143,378

## 5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	86%と目標には届かなかったが、災害等の影響で参加者数が減少したと思われる。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	子どもから高齢者まで、幅広い世代を対象とした講座やイベント等、ビジョンに沿った事業を展開された。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	適切な管理により、憩いの場としての公園施設の提供や、スポーツ教室などの実施により、健康の維持増進に資する施設として良好に運営された。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	新たなイベント等を企画、実施するなど、積極的に取り組まれた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	災害等の影響が大きく利用者数の減少となったが、やむを得ない理由であると考えられる。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	大きな苦情やトラブルもなく、良好に管理運営されたものとする。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	意見、要望の把握に積極的に取り組まれた。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	苦情は、その都度市に報告され、適切に対応された。

(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	△	災害等の影響で利用料収入が大幅減となり、赤字幅が大きくなったものと考えられる。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	消耗品等を、在庫管理から発注まで集中管理することで、より経費の削減が図られた。
収入増加のための取組が行われたか	△	災害等の影響で利用料収入が大幅減収となった。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	△	災害等による臨時的な人事が必要となり、昨年度に比べ大幅に人件費が増加したものとする。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	定期的な研修により各個人のスキルアップが図られた。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例、規則等に基づく平等な利用が行われた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	個人情報の管理は適切に行われた。
情報の公開が適切に行われたか	○	情報公開請求はなかったが、HP や窓口掲示などで適切に情報提供がなされた。
収支状況や会計処理が適切か	△	わかりやすい会計処理に努めて、収支状況の改善に努めて欲しい。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に実施された。
備品等の管理が適切に行われたか	○	点検票により定期的に点検が行われた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	大きな災害に見舞われ、緊急な対策が必要な事象が起こったが、迅速に対応し、安全対策等は十分に図られた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われた。
(5) その他コメント		
サービス向上	足形測定等、新しいサービスを提供するなど、利用者のニーズに合った取り組みに努められた。新しい職員が加わり、職員の応接も良くなっているが、今後も継続して、研修等を実施しスキルアップに努め、更なるサービスの向上を目指して欲しい。	
経費削減	光熱水費や、軽微な作業などの自主実施など、経費の節減に努められ一定の成果があった。今後も、色々な工夫をして、経常経費や人件費の削減等、更なる経費の削減に努めて欲しい。	
施設の維持・管理	今後も利用者のニーズに沿って、利用しやすく喜んでいただける施設となるよう、適正な維持管理に努めて欲しい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

## 6 選定委員会による評価

評価点	3.2点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	収支の赤字の改善を望む。	

《参考》 過年度の評価点

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平均
3点	4点	3.33点	3.33点	3.41点